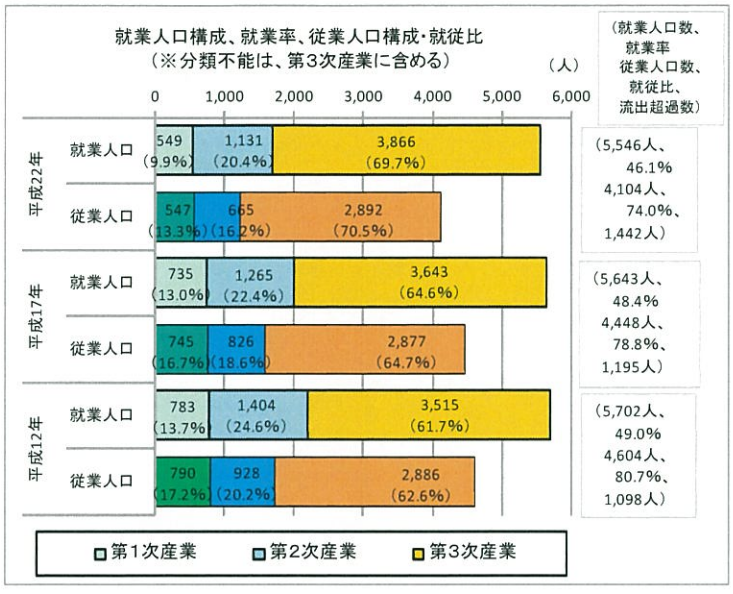
６．産業の状況

(1) 産業別人口

本町の従業人口は、平成22年で4,104人、就業人口の46.1%（就従比）であり、1,442人の流出超過となっており、10年前と比べ、500人減少しています。

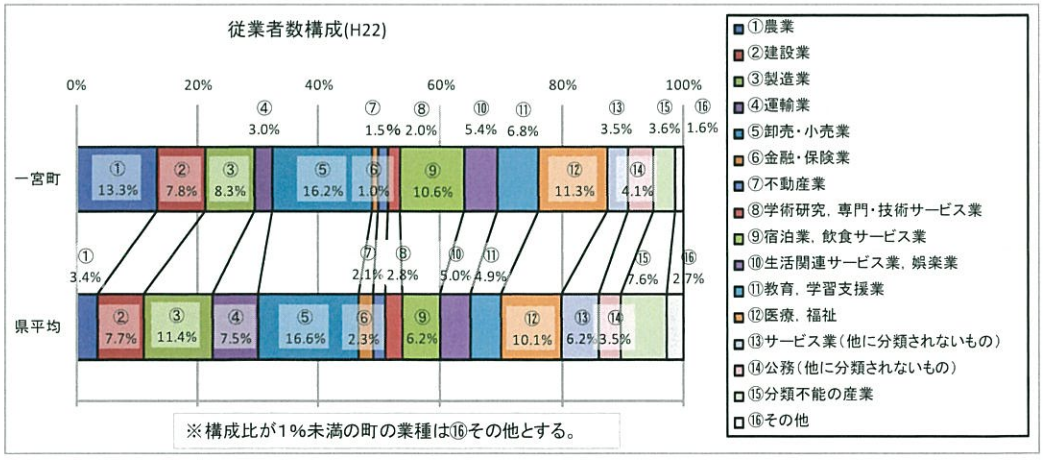
産業の特色として、農業、観光関連の事業所数が多く、従業人口もこれらの産業のほか、医療・福祉関連の従業者数の割合が比較的高くなっています。



（※就業率：就業人口／人口）　　（※就従比：従業人口／就業人口）

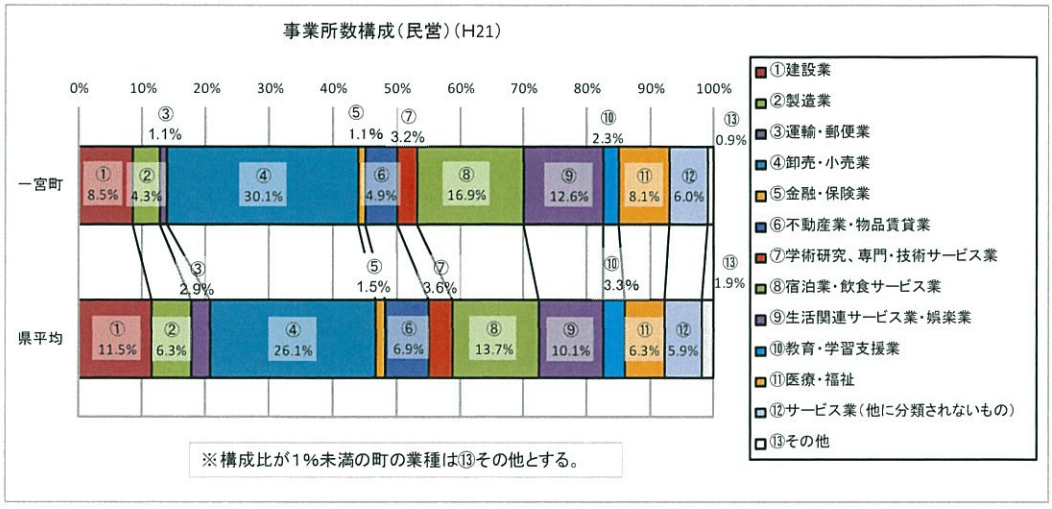
（資料：総務省国勢調査）

≪産業別従業人口構成≫



（資料：総務省国勢調査）

≪産業別事業所数構成≫



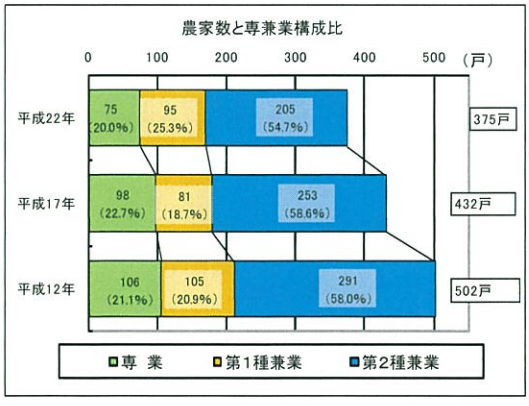
（資料：経済センサス）

(2) 農業

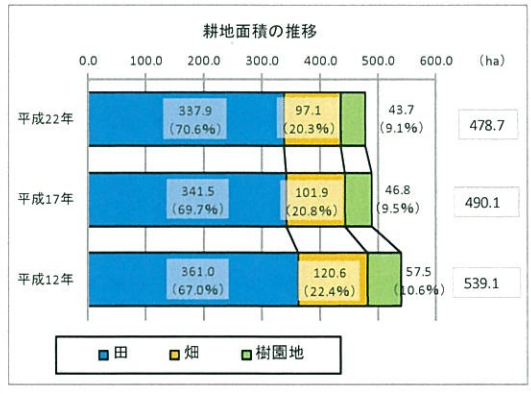
基幹産業である農業は、農家数が10年前の75％に減少しています。耕地面積も10年間で全体として60ha減少しています。

粗生産額も減少傾向がみられます。粗生産額のうち野菜は全体の53％、果実が17％、米が15％を占め、野菜と米、果実は減少傾向がみられ、畜産は増加傾向がみられます。

ガラス温室団地によるハウス栽培によりトマトは収穫量で県内第３位を誇ります。（平成25年度）その他、メロン、梨、イチゴ等の栽培も行われており、町の特産品となっています。



（資料：農林業センサス）



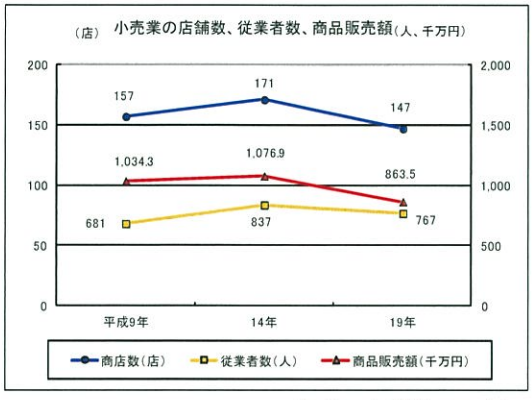
（資料：農林業センサス）

(3) 商業

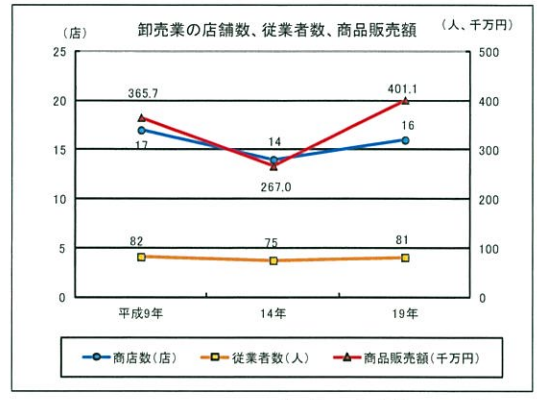
小売業は、販売効率が低く小規模な商業力の弱い店舗が多く、店舗数、販売額共平成14年～18年にかけ大きく減少がみられました。買回品と最寄品の地元購買率は各11％、50％とかなり低い状況です。買回品では、茂原市への依存度が特に強くなっています。卸売業は、店舗数、従業者数、販売額共に概ね横ばい傾向がみられます。

商業地は、近隣商業地域の国道128号沿道に多く立地しているほか、上総一ノ宮駅東側に点在しています。また、主要地方道飯岡一宮線沿道にも、ホテルやレストラン等の商業施設の立地がみられます。

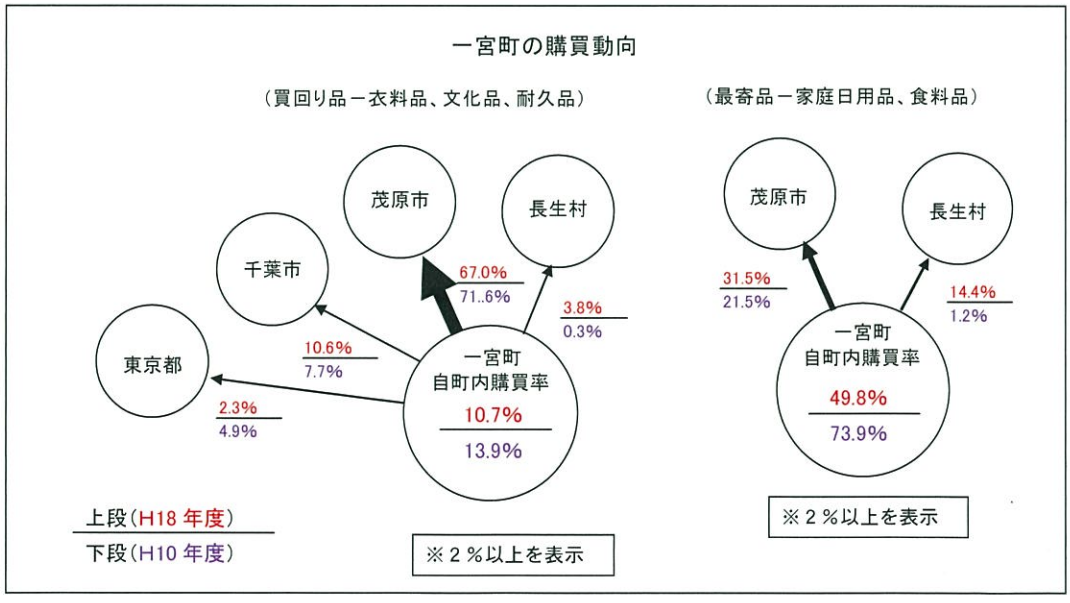
国道128号沿道の既存商店街は、交通量が非常に多い上に歩道が狭く、安全快適に買い物ができる環境になく、駐車場も少ないなど車社会に対応した商業地になっていない状態です。



（資料：商業統計調査）



（資料：商業統計調査）



（資料：千葉県の商圏）

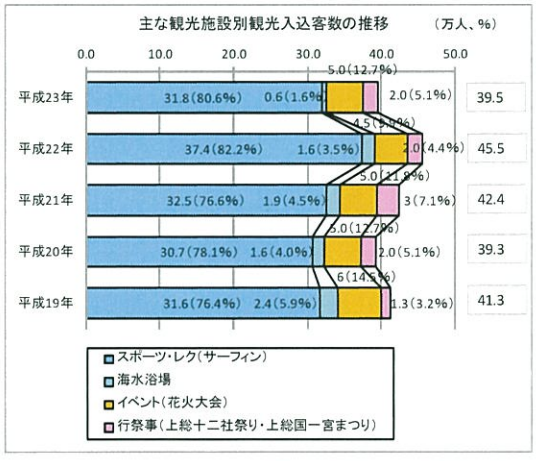
(4) 観光

観光資源・景観資源は豊かで、イベントも盛んですが、観光入込客数は40万人/年前後で推移し横ばい傾向がみられます。サーフィン客が観光入込客数の８割程度を占めています。

主な観光資源一覧

項　目		名　称
自然的資源	自然環境	洞庭湖、釣ヶ崎海岸広場（祭典場）
	海水浴場	一宮海水浴場
	サーフポイント	一宮海岸、東浪見海岸、釣ヶ崎海岸
歴史・文化的資源	寺社	玉前神社、南宮神社、水神社、諏訪神社、東浪見寺、観明寺、東漸寺、東福寺、善光寺等
	城址	一宮城址（城山公園）、高藤山城址
	その他文化財	芥川荘、軍荼利山植物群落等
物産的資源	特産品	トマト、メロン、梨、すしな
その他観光資源	イベント等	観光地曳網、上総十二社祭り（通称「はだか祭り」）、上総国一宮まつり等
	スポーツ・レク施設等	町民憩いの森、一の宮カントリー倶楽部、一宮乗馬センター、サーフィン

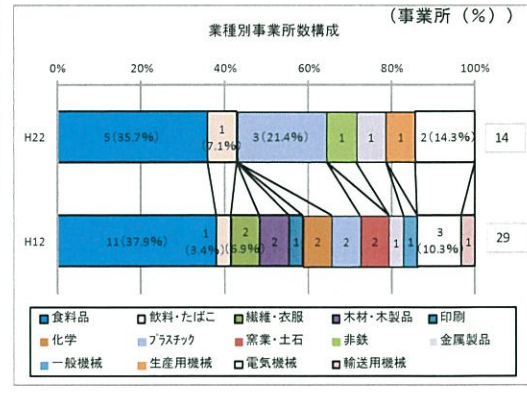
（資料：一宮町町勢要覧等）



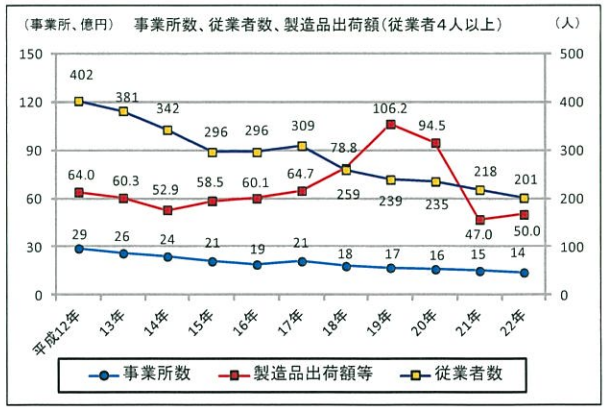
（資料：観光入込調査概要）

(5) 工業

工業は事業所数、従業者数、出荷額共に減少傾向がみられます。特に事業所数は、この10年間で半数以下に減少しています。



（資料：工業統計調査）



（資料：工業統計調査）